

日本フードツーリズム学会 第4回研究大会

日時：2022年2月5日（土）13:00～17:00

会場：ハイブリッド開催（ZOOM、中央電気倶楽部）

非会員はオンラインのみ

参加費：無料（研究報告のみ非会員は対象外）

申込み：QRコードか下記URLからお申し込みください。

<https://forms.gle/Q1kpshtV8vYLbqG6>



研究大会

12:40 開場

13:00 開会挨拶 日本フードツーリズム学会会長 中村忠司（東京経済大学 教授）

13:05 研究報告

1. 中子富貴子「フードトレイルにおける「集積」と「周遊」に関する考察」
2. 藪下保弘他「ツーリズム視点に立脚した「おにぎり」に関する基礎的研究」
3. 岡 恵「オープンファクトリーとフードツーリズムに関する一考察」

14:40 研究分科会報告

1. 震災復興と三陸フードツーリズムに関する研究
2. 日本における「中華料理」と「中国料理」
3. 泉州地域における農産物のブランド化とフードツーリズム

15:30 基調講演 演題「美食観光都市サン・セバスティアン、その成り立ちに迫る」

講師 山口 純子氏（美食プロデューサー：スペイン在住）

〈講演趣旨〉この数年で美味しい町として名前があげられるようになったスペインはバスク地方にあるサンセバスチャン。バスクチーズケーキにピンチョスとこの流行は日本だけではなく世界レベルといえるでしょう。しかしながら、サンセバスチャンは150年以上の歴史を誇る観光都市なのです。こうしたことを踏まえて、サンセバスチャンが美食観光都市として美食家たちのメッカになるまでの成り立ちを解説していきます。

〈プロフィール〉1995年からスペイン在住。「バスク美食倶楽部」というブランドでサン・セバスティアンをはじめ、バスク地方やスペインの美食最新情報を発信。テレビや雑誌のコーディネーターや美食ガイドとして年間多くの日本人をアテンドする。近年では企業や行政の視察だけではなく、政府関係プロジェクトに美食関連のアドバイザーとして参画。2016年サン・セバスティアン荣誉市民候補。共著に『スペイン美・食の旅、バスク・ナバーラ』。2020年バスクリナリーセンター美食観光コース修了。現在はバルセロナクリナリーハブで美食コミュニケーションのマスターコースを学ぶ。

16:45 閉会挨拶 日本フードツーリズム学会副会長 村上喜郁（追手門学院大学 教授）

写真はサン・セバスティアンの人気バル「ZERUKO」

主催：日本フードツーリズム学会

<http://www.foodtourism.jp>

問合先：日本フードツーリズム学会事務局

jimu.jfts@gmail.com